

公述人1(会場④水辺交流センター)

意見の概要

平成18年発表された、利根川水系整備計画の上流における八ツ場・湯西のダム計画、江戸川への分派、布川下の印旛導水路、下流部の築堤計画など、利根川・小貝川に囲まれ、過去に幾度となく水害災害を受けてきた取手にとって、利根川の流量が減少することは、水害の恐怖が僅かでも少なくなるのではと大いに期待が持てる発表だった。しかし、その後何の進展もないまま、早6年が過ぎようとしており残念でならない。近年の降雨の状況はいつどこで人々の生命財産が失うかわからない。計画を実効あるものとして早急な実現を望む。一時期、八ツ場・湯西のダム建設がこの計画と共に話題になったが、先に建設されたダムの治水利水の役割の大きさを思うと、ダムの建設を早急に行い下流域に安全な治水対策を講じていただきたい。この整備計画が決定されても事業内容によっては、実行までに長期化するものが多々あると思われるので、決定を早急にさせていただき、計画的な事業推進を逐次進めて欲しいと考える。

最後に先人たちが国民のために行った利根川東遷、グレーテ氏によって行われた荒川放水路、木曾三川事業など、国土交通省にはこの精神が受け継がれているだろうと思いますので目標に向かい、且つ国民の為に事業遂行をお願いいたします。